

## カリキュラムの特徴

リベラルアーツ学部は、4年間で3期、導入期（1年次）・発展期（2年次）・専攻期（3年次以上）と位置づけ、それぞれの目標である構想力・実践力・推進力の育成を実現させることができるよう、科目を配置しています。

- (1) すべての科目において、特に「言語・表現活動の充実」を基盤とし、「読む・書く・話す（発表する）・聞く」の4つのスキルを充実できるよう配慮しています。
- (2) 導入期では日本語・英語のコミュニケーション力・情報リテラシー、プレゼンテーションスキルなどの基礎力育成に特に力点を置き、さらには各専攻の入門科目を学ぶことで、多角的な視点から問題を追究する基礎力を養うことを目標としています。各自が専攻しようとする分野だけではなく、学際的に学ぶことで、幅広い研究の視点を養い、その中から各自の専攻分野を選択していきます。
- (3) 発展期では各自が決定した専攻（メジャー）の専門的な研究方法の入門・演習科目を複数の分野において学びます。実験・実習、フィールドワークや調査研究などさまざまな学びのスタイルを通して自らの課題に取り組み、各自の専攻分野の基礎を体系的に学びます。学外での実践を行うオフキャンパス・スタディーズ科目も開始されます。
- (4) 専攻期では少人数で行われるプロジェクトセミナーを中心に、学生が主体的に研究方法を培い、問題の発見、課題の解決、思考力を高めます。各自の専攻分野における専門科目と共に研究を深めていきます。
- (5) 卒業年次においては、各自の学習成果を社会に資するために、プロジェクト（卒業論文・卒業プロジェクト）に取り組み、各自の専攻分野において身につけたさまざまな力を活用し、研究成果をまとめ、発表します。
- (6) 4年間を通じて、多分野からひとつのテーマを考える講座（ブリッジ講座）を開講し、社会の最先端研究者や、実務者、専門家らの講義も含め、多角的に問題をみる視点を養うプログラムを提供します。
- (7) グローバルな社会に対応できるように、2言語（日本語・英語）で各自の専攻分野を論じる講座（Introduction to LA Education）を開講し、各自の専攻においても語学力を高めるプログラムを提供します。

### 1 専攻（メジャー）

基礎となる科目を学習した後、各自の目標にしたがって専攻（メジャー）を決定します。メジャーごとに指定された履修プログラムにより学習を進めます。ダブル専攻も可能です。

- (1) メジャーの登録  
1年次7月（仮登録）→ 2年次7月（正式登録）→ 2年次1月（変更最終）→  
3年次4月（最終決定）※以後変更はできません
- (2) 専攻（メジャー）の概要

#### ① 言語と教育

文化的歴史的背景をふまえた広い視野に立ち、多方面からの的確な情報収集能力かつ問題解決能力をもって、言語活用、教育、コミュニケーション力に長けた国際感覚の豊かな

人材を育成します

【日本語コミュニケーションメジャー】においては、(ア)中学校・高等学校の国語教員、(イ)日本語教師、(ウ)その他ビジネスの3方面において中核をなす人材の育成を目指します。

【英語コミュニケーションメジャー】においては、英語における文法、4技能を習得し(ア)中学校・高等学校の英語教員、(イ)小学校英語指導者資格取得者、(ウ)その他ビジネスの3方面において中核をなす人材の育成を目指します。

## ② 社会と文化

日本国内外を問わず、文化的歴史的背景をふまえ、現代の社会に関心を抱き、広い視野のもと、表現力、発信力に長けた国際感覚の豊かな人材を育成します。

【日本学メジャー】においては、広く日本の文化や歴史を理解し、自身の得た知識を国内外に正しく発信できる人材を育成します。

【芸術表現メジャー】においては、芸術の享受と実践を通して的確な理解力と表現力に長けた人材の育成を目指します。

【社会学メジャー】においては、多角的分野に対して批判的に考察し、社会の構成員としての当事者意識と責任感のもと、社会に対して主体的に関わる人材の育成を目指します。

## ③ 科学と技術

科学的根拠に基づいた広い視野に立ち、問題解決能力、データの数量的・統計的分析・処理能力に長け、科学的・実証的研究方法、情報技術を駆使し、積極的に情報発信できる人材を育成します。

【心理行動科学メジャー】においては、人間の心理と行動に深く関心を抱き、正しい情報の選択と解釈する能力をもち、教育や発達を支援し社会的問題を解決すること、自他の心身の健康を促進しwell-beingを高める能力をもつことのできる人材の育成を目指します。

【科学技術コミュニケーションメジャー】においては、現代の科学や技術に深く関心を抱き、自らが未知の問題に対して、検証する能力、多角的分野に対して科学的・合理的に考察し、判断する能力をもつ人材の育成を目指します。

## 2 オフキャンパス・スタディーズ

キャンパス外のさまざまな現場で実践的に学ぶことを奨励します。

各自が企画する個人プログラムと学部が提供するプログラムがあります。

オフキャンパス・スタディーズの単位認定に関する規定

### (1) 対象科目

「フィールドワークA～C」「学外実践実習A～C」「海外特殊研究A～C」

「インターンシップA～C」「日本語教育実習A・B」「キャリア実践実習A・B」

### (2) 受講条件

進度チェック、学習継続条件に抵触していないこと

- (3) 事前登録手続き  
セメスター初めに行われるガイダンスに出席する  
教務担当教員に履修申込書を提出する  
教務担当者会、主任会、教授会で審議のうえ 履修を許可される  
(実習) 原則として45時間を1単位とし実習を行う
- (4) 単位認定  
実習終了後次セメスターの履修登録期間に該当する科目を履修登録する  
報告書を提出するとともに報告会を開催する  
教務担当者会において最終単位認定審査を行う  
主任会・教授会の承認を経て単位認定する

## 卒業要件

- ① ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群の必修科目7単位を修得していること。
- ② ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群・自然科学科目群・社会科学科目群の各科目群から、自身のメジャーの必修科目をすべて含んで各4単位以上、学際科目群から2単位以上、言語表現科目群からリベラルアーツ学部の必修科目16単位以上、計30単位以上を修得していること。リベラルアーツ学科科目群のうち、導入科目群必修単位7単位を修得していること。  
※教職履修者は、リベラルアーツ学部ユニバーシティ・スタンダード科目群の必修選択科目のうち、自身のメジャーの必修科目をすべて含んで6単位以上、その他リベラルアーツ学科科目群のうち、導入科目群必修単位7単位を修得していること。
- ③ 発展科目群必修選択科目2単位以上を修得していること。
- ④ 各専攻メジャー履修プログラムの指定された科目を含み、発展科目群選択科目から10単位以上、専攻科目群選択科目から10単位以上を修得していること。  
※教職履修者は、専攻科目群選択科目については、6単位以上を修得していること。
- ⑤ 上記要件をすべて満たし、124単位以上を修得していること。
- ⑥ 卒業見込セメスターにおいて卒業発表を行い、その審査に合格すること。
- ⑦ 卒業時における累積GPAが2.00以上であること。

## 卒業までの単位配分（教職課程受講者以外）

科目群	科目分類	必要単位	備考
US科目群	玉川教育・FYE科目群	7単位	
	人文科学科目群 自然科学科目群 社会科学科目群 学際科目群 言語表現科目群	30単位以上 (4単位以上) (4単位以上) (4単位以上) (2単位以上) (16単位以上)	リベラルアーツ学部必修US科目群18単位 ならびにメジャー別履修プログラム「6単位以上必修」の部分の科目6単位以上を含み、30単位以上
導入科目群	必修	7単位	必修：LA入門、リベラルアーツセミナー、キャリアセミナーⅠⅡ
発展科目群	必修選択 選択	2単位 10単位以上	必修選択：ブリッジ講座もしくはInt. to LA
専攻科目群	選択	10単位以上	
関連科目群 その他のUS科目群 他学部開講科目 単位互換科目	自由選択	任意	
卒業に必要な単位数		124単位以上	

## 卒業までの単位配分（教職課程受講者）

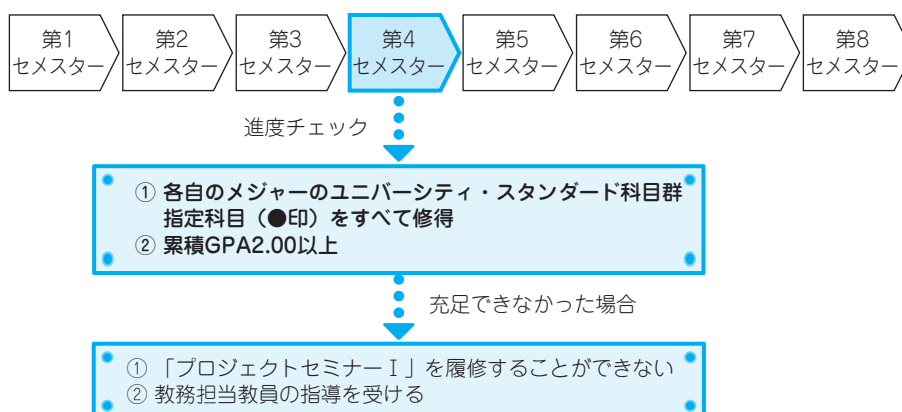
科目群	科目分類	必要単位	備考
US科目群	玉川教育・FYE科目群	7単位	
	リベラルアーツ学部US科目群	24単位以上	リベラルアーツ学部必修US科目群18単位 ならびにメジャー別履修プログラム「6単位以上必修」の部分の科目6単位以上を含み、24単位以上
導入科目群	必修	7単位	必修：LA入門、リベラルアーツセミナー、キャリアセミナーⅠⅡ
発展科目群	必修選択 選択	2単位 10単位以上	必修選択：ブリッジ講座もしくはInt. to LA
専攻科目群	選択	6単位以上	
関連科目群 その他のUS科目群 他学部開講科目 単位互換科目	自由選択	任意	
卒業に必要な単位数		124単位以上	

## 履修上の留意事項

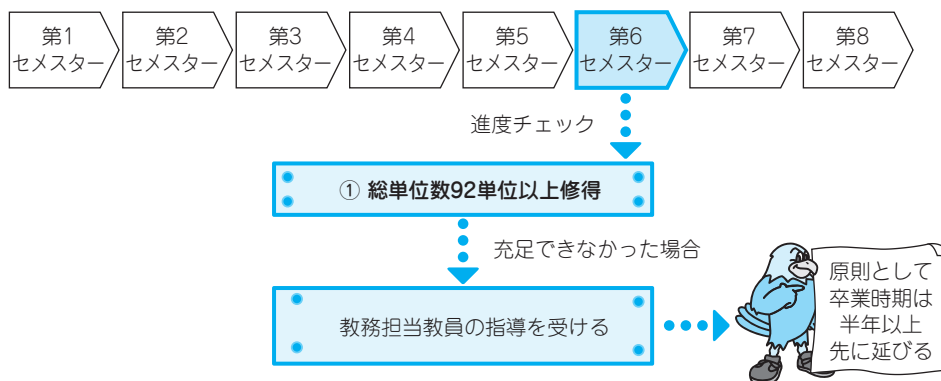
「プロジェクトセミナーⅠ」「プロジェクトセミナーⅡ」「プロジェクトセミナーⅢ」「プロジェクトセミナーⅣ」は、この順で履修しなければなりません。

## 履修条件

## 1 第4 Semester（2年次秋）終了時における進捗チェック



## 2 第6 Semester（3年次秋）終了時における進捗チェック



## 教職課程受講上の留意事項

- (1)教職課程受講条件については「教職課程受講ガイド」を参照してください。
- (2)リベラルアーツ学科教職課程の受講を許可された学生が途中で受講を取り消した場合、あるいは受講継続条件を満たさなかった場合、学科の課程に戻り、所定の卒業要件を満たす必要があります。その際、単位修得状況によって卒業時期が遅くなる場合もあるので、指導担当教員と相談しながら、履修計画を立てることが大切です。

## 資格

各資格取得のための履修要件は、別途定めます（174～175、188～203ページを参照すること）

- \* 日本語教員
- \* 環境再生医初級
- \* 小学校英語指導者（J-SHINE）
- \* 社会調査士
- \* 認定心理士